

# 海上の杜技術士会 第8回 技術研修会

## 講 演 要 旨

平成27年 6月 6日

於：愛知県産業労働センター  
ウインクあいち 907会議室

海上の杜技術士会



## 海上の杜技術士会 第8回 技術研修会 次第

(平成 27 年 6 月 6 日 於:愛知県産業労働センター ウィンクあいち 9 階 907 会議室)

- |              |                                |   |
|--------------|--------------------------------|---|
| 13:50～ 13:55 | 開会のあいさつ                        | 大野 良蔵 会長 (S44 卒)  |
| 13:55～ 14:45 | 基 調 講 演<br>演 題<br>講 師<br>所 属   | 藤前干潟の浄化能力<br>八木 明彦 先生<br>愛知工業大学工学部土木工学科 特任教授                            |
| 14:45～ 15:00 | 質 疑 応 答                        |   |
| 15:00～ 15:05 | 休 憩                            |   |
| 15:05～ 15:55 | 連 続 講 演 1<br>演 題<br>講 師<br>所 属 | 種子有用成分抽出残渣を原料とする<br>活性炭の製造と利用吸着<br>渡邊 藤雄 先生<br>愛知工業大学総合技術研究所 客員教授       |
| 15:55～ 16:05 | 質 疑 応 答                        |   |
| 16:05～ 16:45 | 連 続 講 演 2<br>演 題<br>講 師<br>所 属 | 過熱蒸気を活用したミャンマー連邦共和国<br>でのジェットロファ事業<br>水野 久 氏 (特別会員)<br>(株)実践環境研究所 代表取締役 |
| 16:45～ 16:55 | 質 疑 応 答                        |   |
| 16:55～ 17:00 | 理事あいさつ                         | 酒井 一郎 副会長 (S56 卒)   |



土木学会 継続教育プログラム  
認定番号 : JSCE15-0254 (3.0 単位)

## 基調講演

# 藤前干潟の浄化能力

講演者 八木 明彦 先生

### (1) 講演要旨

藤前干潟(愛知県名古屋市港区)90haにおける物質循環と生物(二枚貝)・微生物・化学物質からの浄化能力を求め、干潟は朝夕の満ち引きによって、一時的に空気に触れるため、酸素供給が干潟底泥内にも浸透し、好気性細菌が活発に働き、底泥・底泥間隙水中の有機物を分解する。また、同時に、底泥ベントスが活発に活動して、二枚貝・巻き貝のフィルターフィーダーやデトリータスフィーダーにより、有機物が摂取され取り除かれる。更に、カニ、ゴカイ類によっても底泥が攪拌されて、酸素が供給される特異的な場である。一見、黒色の干潟は汚らしく、「ない方がよい」と思われるが、そうではなく立派に生物生産がなされ、そのために、渡り鳥の飛来が可能となっている。1994年より、最大干潮時期を選び月1回、季節を考慮して観測した結果を紹介する。

### (2) 講師 Profile

氏 名:八木 明彦 (やぎ あきひこ)

職 歴 等:平成 6年 3月 博士(理学) 名古屋大学  
平成 17年 4月 名古屋女子大学 名誉教授  
平成 17年 4月 愛知工業大学工学部都市環境学科 教授  
平成 24年 4月 愛知工業大学工学部都市環境学科 特任教授  
現在に至る

委員等経歴:建設省矢作川河口堰河川水域予察検討委員  
愛知県水質審議会富栄養部会富栄養化防止技術研究会委員  
名古屋市環境影響評価審査特別委員(藤前干潟)(水質)  
2005年日本博覧会協会環境影響評価アドバイザー会議委員  
名古屋市環境目標値水質部会専門委員  
日本水環境学会中部支部 理事 ほか

著作・論文:土木工学環境分野、水環境での物質循環に関する論文など  
論文 61 報、解説および総説 17 報、著書 2 編ほか

# 連続講演 1

## 種子有用成分抽出残渣を原料とする 活性炭の製造と利用吸着

講演者 渡邊 藤雄 先生

### (1) 講演要旨

文化の発達に伴う地球環境の変化は自然環境に不測の影響を及ぼすとされる。この観点から環境に排出される有害物質の効率的除去処理技術の開発が求められている。この技術の一つとして、演題に示した新たな活性炭の製造を提案・試作し、これを用いて各種有害物質の吸着分離特性評価を行った結果を説明する。

### (2) 講師 Profile

氏 名: 渡邊 藤雄 (わたなべ ふじお)

職 歴 等: 昭和 41 年 4 月 名古屋大学工学部  
昭和 60 年 3 月 工学博士 名古屋大学  
平成 18 年 4 月 愛知工業大学総合技術研究所 准教授  
平成 20 年 4 月 愛知工業大学総合技術研究所 教授  
平成 25 年 4 月 愛知工業大学総合技術研究所 客員教授  
現在に至る

委員等経歴: 化学工学会・蓄熱研究会幹事  
日本吸着学会・評議員 ほか

著作・論文: 吸着分離工学、エネルギー変換工学に関する論文など  
論文 78 報、解説および総説 13 報、著書 13 編ほか

# 連続講演 2

## 過熱蒸気を活用したミャンマー 連邦共和国でのジャトロファ事業

講演者 水野 久 氏 (特別会員)

### (1) 講演要旨

過熱蒸気を活用した食品廃棄物の乾燥／炭化事業と植物の種子からの油分抽出事業を展開する中で、国内での乾燥・炭化事業とミャンマーでのジャトロファからバイオガス／バイオ燃料の抽出と残渣(炭化物)の有効活用をしたビジネスモデルに付いて現状を報告する。

### (2) 講師 Profile

氏 名:水野 久 (みずの ひさし)

職 歴 等:昭和 40 年 4 月 大同特殊鋼(株)中央研究所 入社  
昭和 61 年 1 月 中小企業診断士事務所 開設  
平成 3 年 3 月 (株)実践経営研究所 設立 同代表取締役就任  
現在に至る  
平成 15 年 9 月 (株)実践環境研究所 設立 同代表取締役就任  
現在に至る

資 格:中小企業診断士  
日本大学大学院非常勤講師  
NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)テーマ公募型事業のピュアレビューア ほか

著作・論文:「時短」推進マニュアル	日刊工業新聞社
資材・購買・外注管理実践マニュアル	日刊工業新聞社
ISO9000 取得マニュアル	日刊工業新聞社
現場管理者にパワーを付ける事典	日刊工業新聞社
現場管理者のための 7 つ道具	日刊工業新聞社 ほか